

2017 年 10 月 31 日発行
財団総括委員長 藤居 彰一

1. 補助金関係

1) 地区補助金関係

現在、保延年度の地区補助金（\$83438 DG1846279）は54クラブにて事業を展開中です。事業を完了されたクラブは、完了報告書を1か月以内に御提出下さる様お願い致します。

次年度の取り組み計画は、12月10日に社会奉仕委員会と合同の研究会を、筑西ダイヤモンドホールで開催を計画致して居ります。改めて御案内を致しますが、御出席をお願い致します。

2) グローバル補助金関係

10月に動きがあった案件は、下記の通り。

番号	GG No	内容	担当
①	GG1635848	タイ教育	地区
②	GG1640494	タイ教育	地区
③	GG1862795	透析器	結城

①=最終報告書が受理されました。

②=最終報告書が提出されました。

③=新規案件として承認されました。

(報告書提出状況)

9月号でお知らせした題記の件の内、上表②の通り、最終報告書が、期限内に提出され審査の対象に入りました。

残念乍ら、GG1637190(タイ・目の健康) 大子 RC 担当は、いまだに報告書が提出されて居りません。D.3350のDRFCにフォローの結果、12月に提出予定との回答があり、最終報告が出せない場合は、中間報告を提出する事に成って居り、強くお願いを致しました。

【財団委員長からの切なるお願い！！】

グローバル補助金の報告書提出に関し、先月も同じ事例が水戸東であり、中間報告書を提出して頂き、補助金支給停止の罰を免れました。

9月2日に開催した地区の財団セミナーに於いても強く注意を喚起したつもりですが再発し、大変残念です。

TRFからの忠告を受ける前に、本地区財団ニュースにて事前警告を差し上げているのですから是非、御対応をお願い致します。対応方法が分からない場合は、財団委員会なり、国際奉仕委員会に問い合わせして下さい。

2. 周年行事における、財団への御寄付御礼

題記の件は、今更申上げるのも違和感があるかもしれませんが、10月22日に、玉造 RC の創立40周年式典に御招待を頂き出席しました。保延ガバナーが他の行事の都合で、遅参されることになった為40周年の記念事業の一環として、「財団への金一封贈呈」を、ガバナーに代わって、受領させて頂きました。私がガバナー時代は、型にはまったように代表で「財団」「米山」等等受領致して居りましたが、今回直接「財団」を拝領し、改めてクラブの皆様の御芳志を強く感じ、場所と所を弁えろとの御批判を承知で、深く感謝申し上げる次第です。



3. ポリオ野生株による症例数

国	2017-1-1~	2016年(通年)	2015年(通年)
パキスタン	5	20	54
アフガニスタン	7	13	20
ナイジェリア	0	4	0
赤道ギニア	0	0	0
世界合計	12	37	74

4. グローバル補助金の用語 (財団室ニュース10月号より)

【グローバル補助金の用語】

グローバル補助金は、実施地と実施地の国以外の二つの提唱者が共同で申請、実施します。双方の提唱者の責任は対等です。受益地域やニーズに関わらず、プロジェクトの実施場所が「実施国」、実施国以外を「援助国」と言います。

実施国側代表提唱者 Host Primary Sponsor	実施地(Host)側の、クラブ又は地区 VTTや奨学金の場合は、研修を行う場所が実施地となります。
援助国側代表提唱者 International Primary Sponsor	実施場所以外の国のクラブ又は地区 計画によっては、受益地域の場合もあります 日本語では「援助国」なので、違和感がありますが、実施場所=Hostに対して、国外=Internationalと考えてください
代表連絡担当者 Primary Contact	グローバル補助金の申請にあたり、提唱者双方のそれぞれの代表として、申請書の入力やメールでの連絡を行う担当者
委員会 Project Committee	申請する個々のグローバル補助金を担当する委員会 地区やクラブの委員会とは異なり、年度に関わらず、申請から報告まで一貫して、そのプロジェクトの管理運営にあたります